

◎投票所での代理投票のながれ

	選挙人（投票する方）	事務従事者の対応
1	<ul style="list-style-type: none"> ●受付で「代理投票希望」を申し出るか、投票支援カードなどを受付に渡します。 ●投票所入場整理券（期日前投票では宣誓書も併せて）を受付に渡します。 ●選挙人名簿で本人確認を受けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆代理投票補助者2人が、選挙人のそばに付きます。 ◆選挙人名簿で本人確認をします。 ◆必要に応じて、ご家族や付添の方と意思確認の方法について打合せをします
2	<ul style="list-style-type: none"> ●投票用紙を受け取ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ここからは付き添いの方などの同伴は、原則禁止になります。補助者2人が投票が終わるまで案内します。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●投票用紙記載台で補助者に投票したい候補者を指差しなどで伝えます ●投票したい候補者のメモなどを補助者に渡してもかまいません。※事前に準備してください 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「誰に投票しますか。」と聞きます。指差しなどに従って補助者の1人が投票用紙に候補者氏名等を記載し、もう1人は立ち会います。 ◆投票したい候補者のメモを使う場合は「この候補者に投票しますか。」と聞きます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ●補助者が記載した内容が自身の意思と合っているか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆記載した投票用紙が指示があった内容であるか確認するために、選挙人に「これでいいですか。」と聞きます。
5	<ul style="list-style-type: none"> ●補助者が記載した投票用紙を受け取り、投票箱まで行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆投票の内容を確認した後、選挙人に投票用紙を渡し、投票箱まで案内します。
6	<ul style="list-style-type: none"> ●投票箱に、投票用紙を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆選挙人が投票箱に投函できない時は代わりに補助者が投函します。 ◆投票が終われば、補助者が同伴者などのもとに選挙人を案内します。

※投票を中断することも可能です

投票中に誰に投票するかわからなくなった場合や途中で投票をやめたい場合は、投票用紙を投票所係員へ返却すれば、投票を中断し、投票所の外で休んでから再入場することもできます。（投票用紙を投票箱に投函した後では、再度投票することはできません。）